

第2回徳島市まちづくり総合ビジョン策定市民会議 会議録（要旨）

日 時 平成29年2月6日（月） 午前10時～午後0時
場 所 ホテル千秋閣7階 鳳の間
出席者 委員31人、市長、事務局（企画政策課）

1 徳島市まちづくり総合ビジョン（案）について

（事務局）

総合ビジョン（案）について、「資料1 徳島市まちづくり総合ビジョン（案）」に基づき、説明。

<第3回部会意見を受けて修正した項目等を説明>

総合ビジョン（案）について、「資料2 徳島市まちづくり総合ビジョン（案）概要版」に基づき、説明。

<総合ビジョン（案）の全体像等について説明>

※ 質問及び意見なし。

2 各部会における議論について

（会長）

各部会長から、これまでの各部会における議論を振り返っての総評をいただきたい。

（部会長）

「つなぐ」まち部会では、3つの基本政策について、委員から幅広い意見を頂いた。

先ず、「次世代につなぐ」は、子育て・教育の分野であり、子育て世代にとって、最も関心の高い政策である。徳島市は、2060年に24万人超の人口を維持する目標があることから子育てしやすいまちづくりが必要とのご意見を頂いた。

「社会をつなぐ」は、健康づくり、福祉に関して、福祉・医療が充実することが、安全・安心のまちづくりに一番大事であるなど、多くのご意見を頂いた。

「心をつなぐ」は、人権等に関して、人々の多様性を認めることや人権を守ることが私たちの生活の根幹であり大事にしてほしいなどのご意見を頂いた。

この「つなぐ」部会は、子どもから高齢者まで全ての人々の生活の根幹の部分に関することであり、きちんと整備・充実させていくことが必要である。

これからの時代は、都市間競争が激化する中、人口の流出を防ぎ、多くの人が入ってくる都市にするために、どれだけ魅力的な都市とすることができるかが求められるので、ここで話し合ったことを生かしてほしい。

(部会長)

「まもる」まち部会においても、毎回時間が足りなくなるほど多くのご意見を頂いたが、その中でも特徴的な3つのことをご提案したい。

1つめに、市民参加が欠かせない、それも気軽に市民が参加できる仕掛けが必要とのご意見を頂いた。多様な世代・立場の人が、みんなでまちづくりに参加することで、総合ビジョンの実現を図ることや、そのための担い手を育成していくことが必要である。

2つめに、それぞれの基本政策は、互いに複雑に関連し合っているため、組織として、縦割りではなく、横串の体制づくりに取り組んでいくことが必要とのご意見を頂いた。

3つめに、総合ビジョンは徳島市の計画ではあるが、日本全体や世界の動きに呼応したものとする必要があるとのご意見を頂いた。例えば、「環境をまもる」では、パリ協定に対応することの必要性などが話し合われた。

今後は、総合ビジョンの実現のために、市民が参加することが大事だが、市民参加の前に、市民に総合ビジョンがあることを知ってもらうような取組が必要である。そうすることで、総合ビジョンが生きたもの、有効なものになっていくと思う。

(部会長)

「おどる」まち部会では、「まち」「夢」「ひと」がおどるをテーマに、目標を明確になるよう表現を修正すること、指標が適正かどうかの意見、重点事業に対する具体的な提言など、色々な議論を行なった。

「まちがおどる」では、中心市街地や観光について、「夢がおどる」では、農業の6次産業化や産業の創出について、主にご意見を頂いた。「ひとがおどる」では、教育だけでなく、文化・スポーツの振興に関するご意見も出た。

今後は、横串の議論が重要になってくる。総合ビジョンを実現するために、関連する部局同士がこれまで以上に協力し合っていく必要がある。

個人的な意見としては、計画の性質上、総合的なものになりがちだが、予算の制約がある中で、今後はどのようにメリハリをつけていくかが重要になってくると思う。

3 市民会議意見について

(会長)

先に各部会での議論について総評を頂いた。

ここからは各委員の皆様からご意見を頂きたいが、最初に会長としてではなく、「まもる」まち部会の一員として、「くらしをまもる」について一言意見を述べたい。

交通安全や道路の安全について提言してきた中、「資料2 徳島市まちづくり総合ビジョン(案)概要版」において、このことについて触れてもらっているが、主な成果指標には、その指標が記されていない。「上下水道普及率」よりも、むしろ「安全で安心して、道路や橋が利用できていると感じる市民の割合」等を指標に設定すべきではないか。主な成果指標に選ばれている指標に疑問がある。

(委員)

広範な部会のご意見をうかがって、どれも関連し合っていると感じた。総合ビジョン(案)では、徳島市を良くする、活性化させるための方針がみえるが、縦割りではなく、横の連携を図っていくことが大事と思う。

(委員)

各地域において、戦後の核家族化の影響で今後一人住まいの高齢者が多くなり、将来が不安である方が多く見受けられる。年金も少なく、介護施設で一生暮らせる余裕のある方は、そう数多くないようである。そこで、地域の空き店舗対策と絡めて、今まで生きてきた人生の達人を講師に招き、カルチャー教室を開きそこで行政が少し費用をサポートし、参加者も少額負担をして、共に生きがいを持って健康余生をおくれるシステムができれば、地方活性化にも一石二鳥になると思う。

(委員)

若者や女性だけでなく、高齢者や外国人にも、インバウンドやアウトバウンド等において、活躍の場をもってもらうことが必要である。全ての年代、全ての人々が活躍できる社会をつくることが大事である。

(委員)

総合ビジョンが実現すると、住みやすいまちになると思いながら、市民会議に参加した。その実現には、ビジョンをつくるだけではなく、マネジメントサイクルがとても重要になってくると思う。

(委員)

総合ビジョンの委員に選ばれ重責と感じたが、充実した会議に参加させて頂いた。この会議で勉強したことを、地域の活動などで生かしていきたい。

(委員)

最近、火災で命を失うことが増えているが、高齢化社会の中で、火災の予防に向けた啓発活動を、なお一層進めてもらいたい。

(委員)

徳島市は、以前より子育て施策が進んできており、子育てサービスが充実しており、子育てしやすいまちであるとの話をよく聞く。総合ビジョンでは、ボランティア団体を増やす目標を設定しているが、活躍の機会を増やす等により、子育て支援NPOを育成してほしいと思う。

(委員)

委員の皆さんのご意見をうかがい参考になった。今後も、防災の推進等に、皆さんの

ご協力等を頂きながら、取り組んでいきたい。

(委員)

部会では、様々な提案をしたが、事務局に適切に対応してもらい、良い計画ができた。

教育基本法が改正され、地域で子どもを育てる旨、示されることとなったが、学校・家庭・地域・行政が連携して、子どもたちが健やかに育つ社会になるといい。

また、指標が「子どもたちが充実した学校生活を送っていると感じる市民の割合」と、なっているが、この指標の向上に向けて、子どもたちが家庭で学校の会話ができるなど温かい家庭が増えていくとうれしく思う。

(委員)

今回の総合ビジョン(案)は、10年前に策定したものと、あまり変化がなく、絵に描いた餅のように感じる。

重点事業を着実に進め、市長のリーダーシップのもと、総合ビジョンを前向きに進めていって頂きたい。

(委員)

資料を見て、「2060年に24万人超の人口を維持する」としていることに大変、驚くとともに、はたして、これを達成できるのかと思った。

総合ビジョンは、人口維持にも寄与するよう、推進していただきたい。

また、将来像を記した「つなぐ」「まもる」「おどる」の3つの円の図表について、3つの円の交わるところが笑顔倍増となっているが、「つなぐ」と「まもる」の交点、「つなぐ」と「おどる」の交点等にも、名称をつけると面白いのではないかと思った。

市民が読んで分かりやすい総合ビジョンにする工夫が必要なので、アルファベットは日本語に言い換えた方がいい。

(委員)

武道館やさいたまアリーナなどの施設は、イベントにも用いているが、イベントの方が収入、利用者が非常に多い。

徳島市の音楽ホールや体育館も、もっと大きな考え方を持って、進めてもらいたい。

(委員)

総合ビジョンの実現には、市民の力もちろん必要だが、行政側の意欲が大事であり、それがなければ、実現できないと思う。

失敗してはいけないと抑えつけるよりも、ある程度失敗しても、それを糧に頑張るような環境になるといい。

また、市民が夢をもてるまち、具体的にこんなまちになるということを示すことができるといい。最近、外国人がたくさん訪れているが、10年後には、みんなが英語を話せるまちになる等、他にはない特徴があるといい。

(委員)

総合ビジョンが実現すると素晴らしい街になると思うが、将来、良かったか、良くなかったかが判明するのは、人口増減の結果次第だろう。

人口については、全国の市町村が似通った計画をつくって対策を進めていると思うが、それに成功している自治体は、全国に先駆けて、これまでにない施策を進めているまちである。

今後は、メリハリをつける、特化したことを行なっていく等が必要である。

(委員)

市内の人に、「徳島市のいいところ・住みやすいところ」を聞くと、どんな回答が返ってくるか関心がある。

総合ビジョン(案)は良いものになったと思うので、この通り進められれば、市民が充実した暮らしを送ることができると思うが、今後は、どの施策を中心にしていくか、特に力を入れるのは何かを絞って進めていくことが大事になると思う。

(委員)

新規事業が非常に多いが、今あるものを利用した方が予算は少なくできるので、既存のもの有効利用も必要ではないかと感じた。

大雨が降ると、徳島駅前の商店街に水が入ってくるので、徳島駅近隣の排水管の整備が必要である。

観光バスの降り場所として、駅前が勝手に利用され危ないので、改善が必要である。

徳島駅前の商店街周辺のガス管が老朽化しているが、道路類設備地下のガス管や排水管は公共の物との認識の元、県や市からの支援がなければ、個人では、なかなか進まないのが課題である。

また、先日、徳島駅裏側が音楽ホールの候補地になる話が出たが、地域住民は全く知らなかったので、問い合わせ対応に苦慮した。事前に地域住民に話があると良かった。

(委員)

津波避難時に、どのように市民を助けるかが重要である。

健全者は、垣根を越えてでも逃げられるが、高齢者や身体が不自由な人は、時間内に逃げるのが困難な場合があり、逃げる道を確保するなど、十分に逃げられない人をどのようにして助けるかがとても重要である。

その場合、財政的な支援も必要だが、財政的な支援をバランスよく行なうには長期的なビジョンが必要であり、メリハリをつけて、計画的に進めてほしいと思う。

また、「24万人超の人口を維持する」としているが、なかなか難しい目標であると感じている。この点についても、何に重点的に取り組むかをメリハリをつけて行なってほしい。

(委員)

地元の人が意外に地元の良さを知らないということが多い。地元の人に対して、地元の良さを十分理解する取り組みを進めた上で、市外に向かって地元の良さを発信していくことが大事である。

また、徳島は糖尿病死亡率が全国でトップクラスの状態が続いている。行政の横の連携も重要だが、家庭での取組から変えていくなど、抜本的な対策をしていかなければ、目標を達成できないと思う。

(委員)

「夢がおどる」の指標「働く場が充実していると感じる市民の割合」の意味が捉えにくいと感じる。徳島市に良い働き場所があるのか、それとも、今働いている場所が充実しているのか。

また、高校、大学等で、商品開発やブランド化に取り組んでいるところも多くあるが、こうした取組のように、「つなぐ」「おどる」の連携が、人々の地元への愛着向上や地域の活性化をもたらして、人口減少に歯止めをかけることに繋がるのではないかと思う。

(委員)

総合ビジョンの重点事業に学童保育事業が含まれて良かった。

地域住民が繋がり、互いに支え合うことで活気ある徳島市になると思う。行政だけに頼ることなく、市民全体で取組を実現できるといい。

また、総合ビジョンの作成にあたっては、イラストを多く用いるなど、市民が分かりやすく理解しやすいものとなるよう配慮してもらいたい。

(委員)

横串について、色々考えてきたが、各施策を進めると、将来像「笑顔みちる水都とくしま」につながるというのは、分かりやすくいいと思う。

また、学会は人が減ってきており、財政難で、開催が難しくなっているが、徳島で開催した際は、多くの人に参加し、行政の補助金があったため、収益があった。学会を開催することで、例えば1,500人が参加し、3泊すると、とても大きな経済効果がある。学会により、にぎわいづくり、活性化に繋げるのもいいのではないかと思った。

(委員)

学会やコンベンションの開催はとても大切であり、総合ビジョンにおいても、「コンベンションの誘致」の文言を入れて頂いた。

また、一度徳島に来た方が、もう一度徳島に来たいと思ってもらえるような、市民のおもてなしの心や雰囲気づくりが必要である。徳島市民が、たくさんの人が来て良かったと思えるようになるといい。

(委員)

徳島の活性化には、団体同士の連携や協働が重要になってくる。また、新幹線の四国誘致等の実現には、他にない徳島の魅力を検討していくことが必要である。

(委員)

人口の社会減をくい止めるには、子どもたちの仕事の受け皿づくりが必要である。人工知能が発達し、人々の職が減っていくことが危惧される中、経営者の意識改革や自分が育ったまちを説明・紹介できる教育等が大事になってくると思う。

(委員)

徳島のネット環境は素晴らしいと思うので、今後、ICTに関する素晴らしい人材が育っていくことが期待できるのではないかと思う。

(委員)

地域を良くするために、それぞれの地域に合った取組や必要なことを考え、住んでいる地域のネットワークづくりに取り組んでいくことが必要であると思う。

(委員)

消費者問題が広がってきている中、高齢化社会が進んでおり、こういった方達に対して、消費者教育を一層、進めていくことが必要である。

また、高齢者を子育て等の活動支援に活用できるといい。

総合ビジョンの遂行には、市民の協力や参画が重要になってくると思う。

4 市民会議からの意見報告

(会長)

市民会議報告書について、私から説明させて頂く。

「資料3 徳島市まちづくり総合ビジョンについて(報告)」及び「資料4 徳島市まちづくり総合ビジョン策定市民会議意見集」は、これまでの市民会議における意見のまとめとして作成したものであり、これを市民会議から市長へ提出したい。

この報告書等について、何かご意見等はあるか。

※ 質問及び意見なし。

(会長)

それでは、この内容で市民会議からの報告書及び意見集を市長に提出したいと思うが、よろしいか。

※ 異議なし。

(会長)

それではこの内容で報告を行うこととするが、最後に、私からあいさつを申し上げる。

(会長あいさつ)

通常、1年以上かけて作成するものを、半年で作成したため、各委員におかれては、スケジュール等、大変なご苦勞をおかけしたと思う。

そうした中、厳しいご意見も含め大変多くのご意見を頂けた。

私は、今後、この意見集が非常に重要になると考えている。全ての意見を総合ビジョンに反映できたわけではないが、今後総合ビジョンを見直していく中でとても大事であり、本来向かっていくべき所を見るという点においても、貴重なご意見をたくさん頂いている。ぜひ反映していただければと思っている。

また、委員の皆さんには、市役所に叱咤も必要だが、激励もして頂きたい。

ぜひ活気のあるまちにしていきたいので、皆さんには今後ともご協力をお願いしたい。

＜意見書提出＞

＜会長、報告書読み上げ＞

＜会長から市長に意見書手渡し＞

5 市長あいさつ

(市長)

徳島市まちづくり総合ビジョンの策定にあたっては、日程がとても厳しかったと思うが、こうした中、委員の皆様にはしっかりと議論をしていただき、感謝申し上げます。

皆様から頂いたご意見や貴重なご提言をしっかりと受け止めさせて頂き、総合ビジョン(案)をとりまとめることができた。

市民満足度を向上させる、成果指標を設定しているなど、これまでのものに比べ、分かり易く市民目線であると感じている。

総合ビジョンは、多くの皆様に納得していただける、共感していただけるような将来のまちの姿を示して、その実現に向けて、市民のみなさんと行政が一緒になって、取り組んでいくことが一番大切である。

それが、市民目線で市民が主役の市民のためのまちづくりに繋がっていくものだと思っている。

私たちも、精一杯これからも頑張ってまいりますので、皆様も引き続きご指導をよろしくをお願いしたい。